

魅力満載!! 三江線

江の川沿いの風情



《4》

もいるというから驚きだ。

中には、インドネシア、バリ島の職人が来町し、仕上げたカヌーも。舟という共通項は大海原を越え、同島のマス村と美郷町の交流をもたらした。

江の川沿いの町に生まれ育った私だが、川はそう身近な存在ではなかった。少し上の世代の方々にとっては、江の川は「プール」であり、「遊び場」だったはずだ。

しかし、相次ぐ水難事故や洪水で、私が物心つくころには遊泳禁止となり、河原で遊ぶこともはばかられた。川は「橋から見るもの、渡るもの」。そして「ちょっと怖いもの」。このため、江の川との距離感が埋まらないまま、大人になった。

ところが、八年前に友



達が誘ってくれたカヌーによって、その遠い存在が一気に身近になった。美郷町亀村にある「カヌーの里おおち」は、初心者から上級者のツーリングまで、要望に答えてくれる。

習週には、わたしは江の川下流へツーリングに出かけられる腕前になった！（誰でもそうなる）。不安定そうに見えるカヌーだが、乗り込むとそうでもない。何より、体を感じる川の流れが心地よい。「江の川に守られている」ような気になるから、不思議だ。

カヌーを楽しんだら、同町粕淵の「ゴールデンユートピアおおち」の温泉につかり、初めての体験で疲れた体を癒やすことをお勧めする。プールで全身運動すれば、筋肉痛を免れること、うけあいも楽しい！

カヌーの里はカヌー博物館も隣接し、江の川の川舟や世界のカヌーが展示され、興味深く見学することができる。決して大きくないその舟に乗り、外洋へかけた民族

同施設で、美郷町の国際友好協会の皆さんが「リンドリックコンサート」を開く。リンドリックは、バリ島の竹製の民族楽器のことだ。招かれた

同島出身の演奏者が奏で、きっと、訪れる人々の心を心地よい楽園の音色は、を和ませよう。



歓声をこだませながら、カヌーでのツーリングを楽しむ子どもたち

カヌーの里おおち

江の川ツーリング満喫

チケットは、一般千円、高校生以下五百円。
（邑智郡広域振興財団・高橋由美、美郷町都賀本郷在住）

隔週土曜日掲載